

委員会 審査 Q & A

提出された議案等についての審査経過

本会議で付託された13件の議案等と2件の請願・陳情について、10日から15日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。

各常任委員会での審査について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

税条例を改正 その内容は

Q 今回の改正点は。

A 寄附金控除が拡大され、さらに控除方式がこれまでの所得控除から税額控除に変更となります。

また、これまで公的年金に課税される住民税については、納付書で納める普通徴収でしたが、平成21年10月から公的年金からの特別徴収(天引き)となります。

Q 寄附金控除の対象が拡大され、市税収入等への影響はあるのか。

A 確定申告後でない具体的な数字は分かりませんが、大きな影響はないと思います。

小川温泉寿荘の借地買収へ

Q 老人いこいの家小川温泉寿荘(上吉影地内)の用地買収費とは。

A これまでも公共施設の借地については、問題提起されてきましたが、今回、寿荘の約6千㎡の敷地について、地権者の方に理解を求めまして、購入手続きを進めていきたいと考えています。

霞ヶ浦の未境界地を画定 湖面積の増による影響は



霞ヶ浦(西浦)の石岡市との境界となる恋瀬川河口付近、行方市との境界となる鎌田川の河口付近を現地視察

Q 霞ヶ浦の境界決定による影響は。

A 今回の湖面積の画定により、市の面積が約5.㎥増加となります。これにより地方交付税の算出基礎である基準財政需要額が変わることから、地方交付税の増額が見込めるものです。今後、来年度の地方交付税に算入されるよう手続きを進めていきます。

Q 影響額はどれくらいか。

A 約200万円の増収となります。今後、継続して算入されるものと思います。

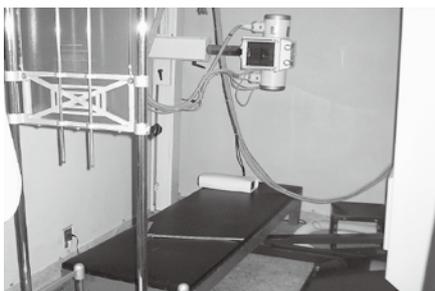
文教福祉

白河診療所の改修について

Q 白河診療所の改修と備品購入について伺いたい。

A 今回の補正予算でエックス線室の改修工事とエックス線機器の購入費用を計上しています。

現在のエックス線室は、非常に狭く患者さん大変不便をかけています。また、エックス線機器も昭和62年に購入したもので耐用年数が経過しており、診察に支障を来していることから、患者さんの利便性を向上させるため、現在の処置室を改修し、新しいエックス線機器を設置するものです。



昭和62年に購入され20年以上経過するエックス線機器。新たな機器購入と併せて処置室の改修も行う。白河診療所の建物自体は昭和42年に現在の場所に移設

放課後子どもプラン 経過は

Q 指導員の状況は。

A 現在は、シルバー人材センターと臨時職員あわせて44名で対応しており充足しています。ただ、指導員さんがなかなか定着しない状況がありますので、引き続き、ハローワークや各学校にチラシ等を掲示して募集をかけています。

Q 竹原小学校の専用施設の建築状況と応募状況は？

A 建物自体は2月の完成を予定し、3月の開設を目指しています。募集については、これから学校を通して実施し、必要に応じて保護者への説明会も考えています。



現在、市内12小学校のうち10校において、放課後等における日頃の子どもの安全な居場所づくりとして実施される“放課後子どもプラン”。クリスマス会など時節に応じた行事も行う

身体障がい者手帳の発行短縮
平成21年4月から市が発行

Q まちづくり特例市の指定を受け、平成21年度から身体障がい者手帳を発行するための費用が計上されているが、現在の申請方法は。

A 現在は、市の窓口で申請および受け取りをしています。市は仲介業務だけで、県の福祉相談センターが発行業務を行っています。

Q 市で発行できるメリットは。

A 手帳が交付されるまでの期間が短縮されます。これまで新規交付で平均1カ月半程度かかっていたものが、約2週間で発行できるようになります。

“まちづくり特例市”21年度から指定へ
～県から市へ権限を委譲～

まちづくり特例市とは、茨城県が行う事務などを住民に近い基礎自治体である市町村に任せることにより、行政サービスの向上を目指すものです。

合併した市は人口5万人から指定が受けられるため、小美玉市では平成21年度から各種事務等の指定を受けていく予定です。

市民経済

市内3商工会が合併へ
地域商業の活性化は

Q おがわポイントカード会の状況は。

A 地域の商業活動の活性化と消費者サービスの拡大を目的に、平成10年に小川町商工会内部に設立されたものです。

これまで購買力の向上や顧客の固定化など着実な成果を上げてきました。現在の消費者ニーズの多様化、大規模小売店の出店など厳しい環境下に置かれており、廃業による加盟店の減少や売り上げの減少にも歯止めのかからない状況があります。

Q 加盟する事業所数は。

A 設立当初で76事業所でしたが、平成20年の5月時点で、56事業所・62店舗の加盟となっています。

Q 今回の小川ポイントカード会への補助の内容とは。

A 老朽化したポイントカード機器の更新と、利用者へのポイント還元事業として、イベント企画等を推進するため、市の補助金交付規定に基づき支出するものです。



小川町商工会加盟店での買物によるポイント還元やイベント参加等の特典が付与される“ひばりカード”。市内3商工会の合併を契機に市全体への普及拡大を目指す

Q 今後、予定される旧3町村商工会の合併後はどうしていくのか。

A 今回の助成にあたっては、ポイントカード会の事業を小川地区だけでなく、市内全域に広めていくことを条件としています。

今後、21年度の当初予算に計上していく予定ですが、がんばる商店街支援事業という県の補助事業を活用し、市全体への普及を目指していきます。

Q 補助の内容は。

A 県内に活動拠点を有する商店街や商店街振興会などの団体を対象とするもので、補助率については、事業費の40%を県が負担し、残りを市町村と各団体が負担します。

商工会？・・・商工会法に基づき知事から認可を受けた公益法人。地域事業主が会員となり経営相談や融資などと各会員を支援する事業から、まちづくり・地域振興など社会福祉の増進に関わる事業なども行う。

指定有料ゴミ袋?・・・平成17年5月の廃棄物処理法改正により、国全体の施策方針として各市町村において一般廃棄物処理の有料化を促進すべきことが明記されている。

破れやすい?統一ゴミ袋

Q 新しい指定ゴミ袋について、破れやすいとの声があるが。

A ゴミ袋の材質（ポリエチレン）は低密度と高密度の2種あります。合併前に採用していた高密度のものは、引張強度に優れますが、尖ったものには切れやすい欠点がありました。

合併後、ゴミ袋の統一に際し、周辺自治体の状況等を調査して、低密度のものを採用しましたが、一定以上の重さで破れやすいとのご意見が寄せられており、現在、契約の範囲内で加工による修正が可能かどうか検討しています。

Q 今後の対応は。

A 平成21年度において、材質自体を高密度にするか、また低密度にするのかを含め再検討していきます。

建設

かしてつ跡地BRT進捗状況は 四箇村〜常陸小川駅の整備も

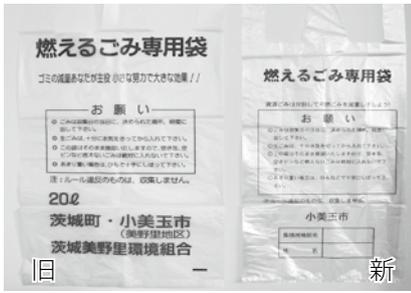
Q かしてつ跡地バス専用道化事業費729万円の内容は。

A 石岡運動公園付近の石岡市との境界から旧四箇村駅までの2.2Km区間の交差点部の地形測量と設計のための費用です。

Q かしてつ跡地の活用に関するこれまでの検討経過は。

A 平成19年3月の鹿島鉄道の廃線以降、代替バス利用者の減少、跡地の荒廃などの問題があり、県からの呼びかけで石岡市を含む勉強会を立ち上げました。

平成20年1月からは学識者、交通事業者を交えた検討委員会の中で、石岡駅から旧常陸小川駅までの区間の事業化について検討し、一定の有効性を検証・確認したことから、今後は法定協議会を立ち上げ、より具体的に整備や運行内容のほか、地域との関わり等について協議していきます。



ごみ減量の施策として全国でも約8割の自治体を実施する指定ゴミ袋（有料）制度。環境への適応が求められる中で、個々人のゴミを減らす意識、実践が問われる（新旧ゴミ袋）

BRT・・・
(Bus・Rapid・Tranjit)

バス・ラピッド・トランジット。直訳すると、より高速な移動を可能にする乗合路線バス。

既存道路の一部利用や分離されたバス専用道の整備により、周辺地域におけるより迅速な交通移動を確保するもの。整備コストが安く抑えられ、導入期間が短いのが特徴。



旧四箇村駅までは整備効果が確実との検討委員会での判断から、今後、法定協議会を中心に先行整備に向けた準備が進められる（旧四箇村駅）

Q 専用道の敷地について、関東鉄道サイドから無償譲渡の確約がない中で、法定協議会の設置が先行するのは順番が逆では。

A これまでの交渉の中では、無償協力の意向も示されています。今後、具体的な運行の内容を見極めたうえで最終決断いただけるよう法定協議会の中で詳細をつめていきます。



旧四箇村駅から旧常陸小川駅までの約2Km区間の整備は、今後その効果等を検証しながら検討としている（旧常陸小川駅のバス待合所と関鉄グリーンバスが運行する路線バス）

Q 代替バスの利用者が激減する中、当面の整備は四箇村駅までとなっているが、小美玉市としてのメリットが乏しいので、常陸小川駅までの延伸についても、確実に計画の中へ位置づけてください。

市内公共交通網の整備計画は

Q 市内全体の公共交通のネットワークについての検討状況は。

A 平成21年明けに市内の全世帯を対象に市民の公共交通に対する意識調査を実施し、その分析により市が実施すべき新たな公共交通網の整備や民間事業者への支援なども含め、市内全体としての公共交通のあり方を検討していきます。

“平成20年度各常任委員会視察研修”

総務

- 日程：7/14-16
- 委員：木名瀬、田村、野村、大宅、村田、荒川
- 視察地及び内容
(滋賀県 高島市)
琵琶湖の市町境界の設定
(滋賀県 東近江市)
コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーの各利点を活かし、市内全域をカバーする公共交通
(滋賀県 米原市)
公共交通空白地帯をカバーする取組み
(京都府 伏見区)
行政補助に頼らない住民による公共交通



企業、個人からの支援で運営するバリアフリーに対応したコミュニティバス
(醍醐地区コミュニティバス)

琵琶湖の境界画定により本市面積より広い180km²が算入された高島市。地方交付税は約8千万円の増収（高島市役所）

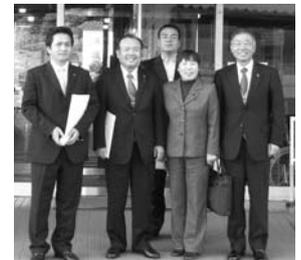


文教福祉

- 日程：11/6-7
- 委員：島田、山本、笹目、小川、藤井、岩本
- 視察地及び内容
(茨城県 結城市)
オール電化方式学校給食センター
(栃木県 宇都宮市)
子ども発達センター（障がい児支援施設）
(栃木県 日光市)
小中一貫教育特区



本市とほぼ同時期に合併した日光市。福島から群馬県境の山間部一体を接し、その面積は栃木県の4分の1にも及ぶ
(日光市役所)



障がい児の総合的な療育・相談拠点として平成18年度に整備。全国的にも少ない重度障がい児のプール活動を支援する設備を有する
(宇都宮市子ども発達センター)

市民経済

- 日程：7/10-11
- 委員：橋本、萩原、大和田、関口、加藤、福島
- 視察地及び内容
(福島県 郡山市)
リサイクル社会の構築（リサイクルプラザ）
(山形県 長井市)
地域循環システムの取組み（レインボープラン）



家庭から出る生ゴミを堆肥化し、化学肥料や農薬の使用を抑制した中で、安心して食べられる農産物を生産。農家と消費者が協力し、地域内における循環システムをまちづくりとして推進している
(長井市レインボープラン)

ごみ焼却を行う清掃センターに併設するリサイクルプラザでは、焼却により発電した電力を活用しながら、自動識別機による瓶・ペットボトル等の再資源化も併せて行う
(郡山市富久山清掃センター)



建設

- 日程：7/9-11
- 委員：市村、戸田、磯辺、中村、山口、古谷
- 視察地及び内容
(北海道 石狩市)
地域水道ビジョン、水道事業の第三者委託
地域地理情報システム（GIS）
(北海道 砂川市)
砂川駅周辺整備
(北海道 室蘭市)
東室蘭駅周辺地区整備基本計画
住民協働による道路整備・管理



砂川駅の東西をつなぐ自由通路と地域交流センターを連結し、中心市街地である駅周辺の魅力創出に取り組む
(地域交流センター“ゆう”)

1市2村の合併により南北延長は70km、また市域は6倍に拡大した石狩市。建設の時代から持続的経営が求められる中、効果・効率的な各種事業等の推進を通じ新市の一体化に取り組む
(石狩市役所)

